

Signalalyze™  
英・和語彙表  
English/Japanese  
Glossary

編者: 前川喜久男 Kevin Varden  
国立国語研究所 筑波大学現代語・現代文化学系

*this file version: May 8, 2000*

Please send comments and suggestions on this glossary to:

Kevin Varden <[varden@luna.email.ne.jp](mailto:varden@luna.email.ne.jp)>

- 8-bit signal 8ビット・シグナル 《8ビットで量子化された音声信号》
- 12-bit signal 12ビット・シグナル 《12ビットで量子化された音声信号》
- 16-bit signal 16ビット・シグナル 《16ビットで量子化された音声信号》
- abort アボート、失敗する
- accelerate (speech) (シグナルの再生速度を) 加速する
- acoustic 音響的な
- active 現在処理の対象となっている
- A/D (Analog/Digital) converter アナログ・デジタル変換器 《アナログ信号をデジタル信号に変換する装置》
- adjoining averages 隣接するシグナル・サンプルの平均
- AIFF (Audio Interchange File Format) シグナル・ファイル・フォーマット 《マッキントッシュで利用される音声ファイルのフォーマット》
- align アライン 《時間軸を揃える》
- amplification 増幅
- amplitude 振幅
- amplitude envelope 振幅包絡線
- analog アナログ
- analog filter アナログ・フィルター 《アナログ電気回路によるフィルター》
- analysis window 分析窓 《デジタル信号処理のために一定の重み関数をかけてサンプリングされた波形を切りだす時間領域》
- anti-aliasing filtering アンチエイリアシング・フィルタリング 《サンプリングによる雑音を除去するためにサンプリング周波数の半分のカット・オフ周波数の低域通過フィルターをかけること》
- arbiter 決定力を与える物
- articulator 調音体 《舌・唇など調音に際して運動をおこなう音声器官》
- articulatory movement 調音運動

- ASCII アスキ 《計算機で英数文字を表現するために用いられる符号。7ビットで128個文字を区別する》
- attenuator cable 減衰ケーブル 《アナログ信号を減衰させるケーブル》
- Audio Interchange File Format (AIFF) AIFF 参照
- autocorrelation 自己相関法 《ピッチ周波数やスペクトルの推定に利用される音声のデジタル処理手法のひとつ》
- automatic gain control (agc) 自動利得調整 《録音時に録音レベルを自動的に調整する機能》
- average spline 平均値に対するスプライン補間
- averaged spectrum 平均スペクトラム
- background operation (プログラムの) バックグラウンドでの実行
- background priority バックグラウンドで実行されるプログラム間の優先度
- band (frequency) (周波数) 帯域幅 《特にスペクトログラムの計算に利用されるフィルターの帯域幅. 時間分解能と逆比例する》
- |                  |      |              |
|------------------|------|--------------|
| slim band        | 超狭帯域 | 50ms/20Hz    |
| very slim band   |      | 100ms/10Hz   |
| narrow band      | 狭帯域  | 25ms/40Hz    |
| very narrow band |      | 33.3ms/30Hz  |
| wide band        | 広帯域  | 8ms/125Hz    |
| very wide band   |      | 5ms/200Hz    |
| extra wide band  |      | 3.33ms/300Hz |
- band clip filter バンド・クリップ・フィルター 《特定の周波数帯域だけを除去するフィルター》
- band pass filter バンド・パス・フィルター 《特定の周波数帯域だけを通過させるフィルター》
- batch load バッチ処理 《あらかじめ指定された一連のファイルを自動的に処理すること》
- bias バイアス 《音声信号の振幅に対してゲタをはかせる場合のゲタのたかさ》
- bias offset bias 参照
- bit ビット 《計算機における情報表現の基本単位。1バイトは8ビット》

- bit mapping ビット・マッピング 《ディスプレイに表示する画像を一旦バッファに書きこんだのちにディスプレイに転送する画像表示方法》
- bitwidth ビット幅 《例えば、8ビット》
- blanks テキスト中の空白文字
- boost ブースト 《計算機を起動すること》
- blitting bit mapping 参照
- buffer バッファ 《計算機による処理の過程で一時的に情報をたくわえるためのメモリ》
- cache (メモリ) キャッシュ 《計算機が参照したメモリ内容を一時的にコピーしておき、次に同じ内容が必要になった時にすばやく利用できるようにすること》
- calculation memory 計算メモリ 《音声信号の記憶のためでなくプログラムのために利用されるメモリ》
- callable (routine) アクセスが出来る(ルーチン)
- card (シグナル・ディスプレイの) カード 《波形や分析結果を表示するモニター上の矩形領域》
- card indicator カード表示 《現在選択されているカードの番号》
- cepstra ケプストラ 《ケプストラムの複数形》
- cepstrogram ケプストログラム 《ケプストラムからもとめたスペクトログラム》
- cepstrum ケプストラム 《スペクトルを波形とみなして計算したスペクトル》
- channel (シグナルの) チャンネル、記録帯
- chooser (マキントシュの) セレクタ
- clear クリアーする 《波形やテキストを消去する》
- click クリック 《マウスボタンを1回押すこと》
- clipping (シグナルの) クリッピング、刈込み 《録音時に波形の上下端がひずむこと》
- complements-two 2の補数 《A/D変換されたサンプル値の記録方法のひとつ》
- complex transformation 高度な変換 《シグナライズで可能な音声信号変換処理のうちサンプリング周波数・ビット幅の変換など比較的高度なもの》
- compression (音声信号の) 圧縮

- cone kernel コーン・カーネル 《FFTによるスペクトル分析の精度をあげるための信号処理手法》
- contour (スペクトログラムの) 階調
- contrast (スペクトログラムの) コントラスト
- control panel (シグナライズかマッキントッシュの) コントロール・パネル
- co-processor コプロセッサ 《数値演算の処理速度をあげるための副CPU》
- correlation 相関
- Cos (cosine) 余弦、コサイン
- cosine-defined 余弦のような形
- creator signature (ファイルの) クリエイター・サイン 《シグナライズのテキストファイルを表計算ソフトなどで利用するために指定する各アプリケーション固有の記号》
- cursor (シグナライズの) カーソル 《シグナル・ウィンドウ内の乗直線》
- curve fitting 曲線のあてはめ 《とびとびに測定されたデータに spline 関数などを利用して連続した曲線をあてはめること》
- D/A (digital/analog) デジタル・アナログ変換 《計算機内部の音声を再生するなど》
- data fork データ・フォーク 《マッキントッシュのファイルのデータがある部分》
- dB (decibel) デシベル 《振幅(amplitude)の単位》
- dB difference デシベル差 《指定されたシグナルウィンドウ領域の両端の振幅の差》
- decibel (dB) dB 参照
- decibel difference dB difference 参照
- decimal comma 小数点のコンマ 《小数点をあらわすコンマ》
- decimal point 小数点
- default 暗黙値 《シグナルの名称などをユーザが指定していない場合にシグナライズが自動的につける名称》
- delta デルタ 《最大値と最少値の差》
- derived signal 派生シグナル 《音声シグナルから派生したシグナル。スペクトル、ピッチなど》
- derivative difference 差分 《隣接するシグナル値の差分。連続関数の導関数に相当》
- destination track 目標とするトラック

- dialog box ダイログ・ボックス 《ユーザーと対話のためにコンピュータが表示するウインドウ》
- differentiation 差分をとること (derived difference 参照)
- digital デジタル
- digital/analog デジタル・アナログ変換 《計算機内部の音声を再生するなど》
- digital filter デジタル・フィルター 《デジタル信号処理によって実現されたフィルター》
- Digital Signal Processing (DSP) デジタル信号処理技術
- digitization デジタル化 《一般にアナログ量をデジタル量に変換すること. A/D 参照》
- dithering (スペクトログラムの) ディザリング 《グレースケールで表現されていたスペクトログラムを印刷などの目的のために1ビットの白黒パタンで近似すること》
- dot plot ドット表示 《音声シグナルの表示法のひとつ. サンプル値と時間軸を垂線で結ばず, サンプル値に相当するドットだけを表示する》
- double-size track display ダブル・サイズ・トラック・ディスプレイ 《ラックを二つ使うディスプレイ》
- down-sampling ダウンサンプリング 《すでにデジタイズされた音声シグナルのサンプリング周波数をより低いものに変更すること. Complex transformation のひとつ》
- drag select ドラッグ・セレクト 《マウスボタンを押したままマウスを移動させて領域等を指定すること》
- driver ドライバー 《A/D 変換器などの周辺装置を制御するためのプログラム》
- DSP Digital Signal Processing 参照
- duration 持続時間、長さ
- echo component 反射音成分
- EEG (Electroencephalogram) 脳波図
- EMG (Electromyography) 筋電図
- enable button イネーブル・ボタン 《シグナライズの Signal Control Panel 上のボタンのひとつ. シグナル間の同期を指定する》
- encode 符号化する
- envelope 包絡線 《⇒amplitude envelope, power envelope, RMS envelope》

- ergonomic 人間工学的な《働く人の特性にあった機械や設備などを研究する学問》
- extension 拡張子《ファイルの分類を目的としてファイル名に追加される接尾辞》
- extraction (Foの) 抽出
- Fo (fundamental frequency) 基本周波数、ピッチ
- FFT (Fast Fourier Transform) 高速フーリエ変換《計算機で高速にフーリエ変換をおこなうアルゴリズム》
- FFT-Comb (FFT-Combination) FFTによる (Fo抽出)
- Fast Fourier Transform (FFT) FFT 参照
- Filter フィルター、ろ波器《シグナル中の特定の周波数成分だけを通過させる電気回路
- analog, anti-aliasing, band clip, bandpass, digital, high pass, input, inverse, low pass, moving average, output 参照》
- Finite Impulse Response (FIR) 有限インパルス・レスポンス (フィルター) 《デジタル・フィルターの一種》
- Infinite Impulse Response (IIR) 無限インパルス・レスポンス (フィルター) 《デジタル・フィルターの一種》
- Butterworth バターワース・フィルター
- Chebychev チェビシェフ・フィルター
- input インプット・フィルター
- output アウトプット・フィルター
- first derivative 1次導関数《連続関数を一回微分した関数. 運動の速度をあわらす》
- fixed sampling rate 固定したサンプリング・レート
- floating point operation 浮動小数点演算《小数をふくむ数値の演算法のひとつ》
- font フォント
- formant フォルマント《声道の共鳴周波数. 伝達関数のピーク値》
- format フォーマット《データの書式》
- formant spectrogram フォルマント・スペクトログラム《フォルマント・スペクトラムに基づいたスペクトログラム》
- formant spectrum フォルマント・スペクトラム《LPC法などでもとめたスペクトラム. FFTスペクトラムに比べてフォルマントのピークが明瞭にしめされる》
- freeware フリーウェア《無償で公開されているソフトウェア》

- frequency 周波数
- frequency band 周波数帯
- frequency domain 周波数領域
- frequency equivalent 持続時間に対応する周波数《持続時間（波長）の逆数が周波数をあたえる》
- frication 摩擦（音）
- frication index 摩擦の指標《零交叉などを利用してもとめられる摩擦性の指標》
- FTP (File Transfer Protocol) エフ・チ・ピ 《ネットワークにつながった計算機間でファイルをやりとりするためのプログラム》
- full range フル・レンジ（のスペクトル）《FFTスペクトルを全周波数領域、つまり0 Hz からナイキスト周波数まで表示すること》
- fundamental frequency (Fo) 基本周波数、ピッチ
- General Control Panel （シグナライズの）一般設定コントロール・パネル《画面右上にあり、録音・再生・各種分析などに使用する》
- gopher ゴーファー《計算機ネットワークで使用する検索プログラム》
- grayscale グレー階調
- grid line 格子《シグナルの背景に表示される縦ないし横の格子》
- half range ハーフ・レンジ（のスペクトル）《FFTスペクトルを周波数領域の半分まで、つまり0 Hz からナイキスト周波数の半分まで表示すること》
- Hamming window ハミング窓《デジタル信号処理で使用する分析窓関数のひとつ》
- harmonic frequency 倍音《基本周波数の倍音》
- Hertz (Hz) ヘルツ《周波数の単位》
- high pass filter ハイ・パス・フィルター
- high resolution 高解像度《モニターもしくはスペクトログラムについて》
- hiss ヒス音《子音[s]などのシューシューという音》
- Hz Hertz 参照
- Hz (Hertz) difference 周波数差《指定されたシグナルウィンドウ領域の両端の周波数の差》
- I/O (input/output) （計算機へのデータの）入出力
- icon アイコン
- information bar インフォメーション・バー《現在選択しているシグナルの情報が表示される領域. General control panelの下部》
- inputting インプットすること、入力すること

- interactive 対話的《ユーザが計算機と対話するように情報を交換しながら仕事をすすめてゆくこと》
- intonation contour イントネーション曲線《Fo, amplitude 等の時間的变化》
- inverse color 反転色《スペクトログラムの表示で振幅と色との対応を通常とは逆転させること》
- inverse filter 逆フィルター《与えられたスペクトルの逆の特性をもつフィルター》
- key-click combination キー・クリック・コンビネーション《他のキーを押しながらクリックすること》
- kinematic (movement) signals 運動信号《調音器官などの運動を記録した信号》
- knot ノット《隣接しているシグナルピークの平均》
- knot width ノット幅《ノット計算に使用するサンプリング窓のひろさ》
- kurtosis 尖度《分布のピークのするどさを表す統計量》
- label(ing) ラベル (ラベリング)《信号につける音声記号などのラベル》
- landscape display ランドスケープ・ディスプレイ《横に広い通常のCRTディスプレイ》
- large track double-size track display 参照
- Linear Predictive Coding (LPC) 線形予測分析《信号の自己相関に基礎をおいた音声分析手法》
- localize 局所化する
- lock cursors カーソルを固定されること
- log (logarithm) ログ、対数
- log10 10を底とする対数
- log scale 対数軸
- long-term averaged spectrum 長時間平均スペクトル《多数のFFT値の平均》
- low pass filter ロー・パス・フィルター《特定の周波数より低い成分だけを通過させるフィルター》
- low resolution 低解像度 (スペクトログラム)
- LPC Linear Predictive Coding 参照
- macro マクロ《一連の操作をあらかじめ記述しておき自動的に実行すること》

- manual scoring 手による測定《信号の各種特性を画面上でカーソルを使って測定すること》
- maximum 最大値
- mean 平均値
- memory allocation メモリーの割り当て《信号メモリー, 計算メモリーなどの量を指定すること》
- memory management メモリー管理
- mike technique マイクを使うテクニック
- millisecond (ms) ミリ秒《1000分の1秒》
- minimum 最小値
- missing values 欠損値《統計量の計算から除外されるサンプル値》
- Monitors Control Panel (マッキントッシュの) モニター・コントロール・パネル
- moving average filter 移動平均フィルター《矩形窓をもつFFTフィルター》
- ms (millisecond) ミリ秒《1000分の1秒》
- multichannel 複数チャンネル
- Multifinder マルチファインダー《マッキントッシュ・システム6.xのマルチタスクファインダー》
- multiplicity 多様性
- N (number) (統計量計算における) 観測数《欠損値をふくむ》
- narrow band cepstrum 狭帯域ケプストラム
- narrow band spectrum 狭帯域スペクトラム
- native file ネイティブ・ファイル《計算機機種固有のファイル》
- noise ノイズ・雑音
- normal resolution (スペクトログラムの) 通常解像度
- normal size track display 通常サイズのトラック・ディスプレイ (track 参照)
- normalization 正規化《シグナライズ以外のデータ・フォーマットで音声データを出力する際に生じるデータ幅, サンプル周波数等の変更》
- numeric format (サンプル値をファイルに書く際の) 数値書式
- numeric type (サンプル値をファイルに書く際の) 数値タイプ《整数か浮動小数点か》
- numeric scale (信号の) 数値軸

- Nyquist frequency ナイキスト周波数 《標本化周波数の2分の1. これ以下の周波数情報は標本化によって損なわれない》
- observation(s) 観測値, 測定値
- %valid 有効な観測
- total 観測値総数
- valid 有効観測値
- octave オクターブ
- offline オフライン 《計算機による非対語型の処理》
- offset bias オフセット・バイアス 《シグナライズの信号変換処理の一種. 信号値に一定の値をくわえること》
- one-shot transfer mode 一発転送モード 《シグナライズの編集モードのひとつ. 信号編集ウィンドウの内容をクリップボードに転送する》
- order (分析の) 次数 《LPC分析で自己相関関数を計算する時間領域を指定するパラメータ》
- orientation オリエンテーション、方位付け
- oscillating 振動している
- output アウトプット、出力
- output tolerance (標本化周波数変更の) 許容範囲 《アップ・サンプリングやダウン・サンプリングによる標本化周波数の変更をどこまで許容するか指定》
- outputting 出力すること
- overflow (数値の) 桁あふれ 《計算機があつかえる範囲をこした大きな数値が計算の過程で生じること》
- palette (スペクトログラムの) パレット 《スペクトログラムの階調表示色の組み合わせ》
- pause length (メッセージの) 停留時間 《シグナライズがユーザーに表示する各種メッセージがモニター上に表示されて消去されるまでの時間》
- peak-to-peak envelope ピーク抱絡 《波形の振幅表示法のひとつ》
- peak-to-peak period detector ピーク検出 《基本周波数の抽出法のひとつ》
- phase plot 位相プロット 《波形の振幅と速度のXYプロット》
- phonetic font (IPAなどの) 音声記号フォント
- PICT format PICT フォーマット 《グラフィックス・ファイルのフォーマットのひとつ》
- pitch detector ピッチ検出法 《各種の基本周波数抽出手法のこと》

- pitch extraction ピッチ抽出 《音声波形の基本周波数を測定すること》
- pixel ピクセル 《モニター上のひとつの点, 画素》
- playback (録音の) 再生
- plot プロット 《波形, スペクトル, ピッチ等をモニターへ描画すること》
- pop-up menu ポップ・アップ・メニュー 《マウスの操作等によってモニター上にとびだすメニュー》
- power envelope パワー抱絡 《音声パワーの抱絡》
- pre-emphasis 事前強調 《分析に先立っての高周波数域を強めておく処理》  
(音声の) 事前強調 《分析に先立って音声の高周波数域を強めておく処理》
- printer driver プリンタ・ドライバー 《プリンターを制御するプログラム》
- programmability (ユーザーによる) プログラミング可能性
- quarter range 4分の1レンジ 《スペクトル分析の結果を表示する際の周波数レンジのひとつ. ナイキスト周波数の1/4の周波数まで表示する》
- quefrensy クフレンシー 《ケプストラム分析では入力となるスペクトルを時間波形とみなすが, その際, スペクトルの周波数軸をこう呼ぶ》
- RAM (Random Access Memory) ラム 《計算機のメモリーのうち読みだしと書き込みがともに可能なもの》
- range (スペクトル表示の) レンジ 《⇒half range, full range, quarter range》
- ratio (最大値と最小値の) 比 《シグナライズが表示する音声信号の統計量のひとつ》
- reciprocal (振幅の) 逆転 《シグナライズが提供する音声信号変換機能のひとつ. 元のサンプル値  $x$  を  $32767 \cdot 1/x$  で置換する》
- refresh (画面やメモリー内容の) 書き直し
- Reg (regular signal) 元音声信号 《各種の信号処理をおこなう以前の信号》
- resolution (モニターの) 解像度, もしくは (スペクトログラムの) 分解能
- resource fork リソース・フォーク 《マッキントッシュのファイルのリソース (通例にアイコンやファイル・メニューの内容など) があるファイルの部分》
- RISC processor リスク・プロセッサ 《命令数を減らして高速な動作を可能にしたCPU》
- RMS (Root Mean Square) アール・エム・エス (平均) 《平均値の一種. 各要素の二乗を平均したのち平方根をとる》

- RMS (Root Mean Square) envelope (振幅の) アールエムエス抱絡《振幅の》
- sample number サンプル番号《カーソルのおかれているサンプルの番号. シグナルコントロールパネルに表示される》
- sample value サンプル値《カーソルのおかれているサンプルの値. シグナル・コントロール・パネルに表示される》
- sampling frequency サンプリング周波数《1秒間にサンプリングをおこなう回数》
- sampling rate サンプリング・レート《サンプリング周波数のこと》
- scale スケール, 軸《各種の数値軸. 周波数軸, 時間軸など》
- scale down 縮小する
- scale up 拡大する
- scrap クリップボードの内容《アップルコンピュータの用語》
- scroll bar スクロール・バー
- sd (standard deviation) 標準偏差
- second derivative 二次微分《2回微分をおこなって得られる関数やその値》
- secondary signal 第2の信号《ふたつの信号間で信号変換操作をおこなう場合の2番目の信号》
- separator 区切り記号《ファイル中で隣りあうデータを区切るために用いられる記号》
- sequential macro 順次実行マクロ《一連の操作を記録しておいて一括実行する処理》
- shareware シェアウェア《ネットワークなどに公開されているソフトのうち有償のもの》
- shift clicking シフト・クリック《シフトキーを押しながらマウスをクリックすること》
- shift left (シグナルの) 左シフト《シグナライズが提供する音声信号変換機能のひとつ. ビット単位にシグナルを左方向にずらす》
- shift right (シグナルの) 右シフト《シグナライズが提供する音声信号変換機能のひとつ. ビット単位にシグナルを右方向にずらす》
- sideways display 横に長いディスプレイ
- signal シグナル (音声) 信号《時間とともに変化する物理量》
- signal acquisition 信号の取得《シグナルのアナログ・デジタル変換》
- signal analysis 信号の分析

- Signal Control Panel (シグナライズの) シグナル・コントロール・パネル
- signal memory シグナル用メモリー《シグナルの(分析でなく)記憶のために使うメモリー》
- signal replot シグナルの再表示
- signal splice シグナルの継ぎ合わせ
- Sin (sine) サイン・正弦関数
- skewness (シグナルの) 歪み《正規分布からのズレをあわらす統計量のひとつ》
- slice plot (スペクトルの) スライス・プロット (Spectral section 参照)
- slope (シグナルの) 傾き《指定区間中のシグナルの最大値と最小値の差を持続時間で割った値》
- slow-down スロー・ダウン《シグナルの再生速度を減速すること》
- smoothing (シグナルの) 平滑化
- Snd (sound) resource サウンド・リソース《マッキントッシュで音声を保存する形式のひとつ》
- sound input 音の入力
- sound level 音のレベル《再生音のおおきさ》
- sound reproduction 音の再生
- sound (Snd) resource Snd resource 参照
- sound (Snd) resource format サウンド・リソース・フォーマット  
Snd resource 参照
- source signal 源信号《シグナル変換の際, 元になる方のシグナル》
- spectra Spectral section 参照
- spectral スペクトル《各種スペクトル分析のメニューの名称》
- spectral amplitude スペクトル振幅
- spectral analysis スペクトル分析
- spectral frequency スペクトル周波数
- spectral intensity スペクトル強度
- spectral section スペクトル・セクション《スペクトログラムの「断面」. 個々の倍音が確認できるので基本周波数の精密な測定などに利用される》
- spectrogram スペクトグラム《もしくは Spectral メニューにおける Spectrogram-Cepstrogram の選択》

- spectrum スペクトラム 《もしくは Spectral メニューにおける Spectrum-Cepstrum の選択》
- speed-up スピード・アップ 《シグナルの再生速度を加速すること》
- spline スプライン (関数) 《離散シグナルの間を補完する手法のひとつ》
- Sqrt (square root) 平方根
- standard deviation (sd) 標準偏差
- startup (プログラムやコンピュータの) スタート・アップ
- statistics 統計量・統計学
- synchronous 同時 (性) の
- System file システム・ファイル
- tab character タブ文字
- Tan (tangent) タンジェント、正接
- taper (信号などが) 漸減する
- temporal domain 時間領域
- Temporal Structure Analysis (TSA) 時間構造分析 《基本周波数抽出手法のひとつ》
- tension spline テンション・スプライン 《スプライン関数のひとつ。テンションの値が1に近いほど曲線はサンプル値の近傍をとおる》
- TEXT file テキスト・ファイル 《アスキー文字だけからなるファイル》
- threshold 閾値・しきい値 《特に基本周波数抽出における無声/有聲のしきい値》
- threshold level しきい値の水準
- time lock タイム・ロック 《ある信号の拡大や移動が他の信号には影響しないモード》
- time plot タイム・プロット 《信号のなかの選択された部分を拡大する
- toggle トグル (スイッチ) 《2回もしくは数回の操作でもとの状態にもどるスイッチ》
- track (シグナルの) トラック 《信号が表示されるウィンドウのこと》
- transcendental transformation 超越変換 《変換結果の小数部分に興味がある変換. sqrt, sin, log 等》
- transform (信号を) 変換する

transformation (信号の) 変換

arithmetic 算術変換・整数変換《add, subtract 等》

complex 複雑な変換《標本化周波数の変更や信号の差分への変換など》

simple 単純な変換《算術変換や超越変換など》

sqrt 平方根変換《信号値の平方根への変換. 振幅のちいさい成分の強調に有効》

transcendental 超越変換《変換結果の小数部分に意味がある変換. sqrt, sin, log 等》

transition (信号の) 遷移

transition noise 遷移ノイズ《サンプルの追加や削除によって生じるノイズ

transition smoothing 遷移の平滑化《サンプルの追加や削除によって生じたサンプルの不連続を平滑化する処理》

TSA (Temporal Structure Analysis) 時間構造分析《基本周波数抽出手法のひとつ》

upsampling アプサンプリング《標本化周波数をあげること》

vertical zoom (信号の) 垂直方向へのズーム

virtual memory 仮想メモリー《計算機のメモリーが不足する場合に外部記憶装置をメモリーとみなして使用すること》

virus ウィルス《コンピュータ・ウィルス》

voice (人間の) 声《喉頭において声帯の振動によって生成される音》

white noise 白色雑音

wide-band spectrum 広帯域スペクトラム

wide signal display double-size track display 参照

word wrap ワード・ラップ《テキストの行末が英単語の途中で終わらないようにすること》

X-axis X軸

X-Y plot エックス・ワイ・プロット《ふたつの信号の値をX軸Y軸にとった散布図》

Y-axis Y軸

zero baseline ゼロ 交叉《ファイルへの記録に際してサンプルの平均値がゼロになるようにする設定》

zero crossings ゼロ交叉《信号の値がゼロを通過して変化する頻度》

zoom (信号の) ズーム《時間軸・周波数軸などに沿って信号をひきのぼすこと》